

施策	23	高等教育の充実	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		
施策主管課	学校教育課	課長名	櫻井 毅	内線	2570	政策担当部長名	教育次長 澤柳 陽一
施策関係課名	生涯学習・スポーツ課、公民館、図書館、産業支援課						
重点施策	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進計画					

1 施策の目的

目的	対象	大学生、高校生、短大生、専修学校生
	意図	学ぶ機会が得られる

2 現状把握

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
① 市内中学校を卒業した数	人	1,087	1,048	1,000	1,047		1,067
成果指標 ※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
① 高校・大学進学率 ア) 高校進学率 イ) 大学進学率(短大含む) ウ) 専修学校進学率	%	ア) 98.9 イ) 49.2 ウ) 24.3	ア) 99.6 イ) 49.5 ウ) 22.5	ア) 98.2 イ) 48.9 ウ) 20.6	ア) 99.2 イ) 46.9 ウ) 22.3		ア) 99 イ) 54 ウ) 23
② 高校生活に満足している人の割合	%	68.0	-	-	72		70

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度	
行政	市(国・県) ・進学する人への経済的な支援 ・私立学校への財政的な支援	①市で奨学金の貸与を行っている高校生及び大学生の数(人)	① 50	50		90	
		②財政的な支援を行った私立学校の数(校)	② 1	1		1	
主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項				
市民等	個人	高校、専修学校、大学(短大含む)への進学	進学率	・3つの民間育英会(長志、松村、竜峽)からは、毎年市へ奨学金資金を寄付して頂いている。これらの資金を基にして各育英会と市が奨学金貸与審査委員会を組織して奨学金貸与者の選考をしている(概ね毎年50人を選定。)			
	教育機関	ニーズにあった教育を実施する	在学している学校に満足している人の割合				
	民間育英会(任意団体)	進学する人への経済的な支援	民間の奨学金を利用した人数				

3. 平成24年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

<input type="checkbox"/> 計画どおり取り組めた
<input checked="" type="checkbox"/> おおむね計画どおり
<input type="checkbox"/> あまり取り組めなかった
<input type="checkbox"/> 達成できなかった

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

<input type="checkbox"/> 進んだ
<input checked="" type="checkbox"/> ある程度進んだ
<input type="checkbox"/> あまり進まなかった
<input type="checkbox"/> 進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

- ・3年に1度実施している高校生アンケート(飯伊の高校で原則各学年1クラスを対象(回答数1,064人 定時制含))の平成24年度調査では、平成21年度に比べて高校生活に満足している割合が4%増加しており、引き続き他施策で展開する「地域人教育」などの取組も含めて、この指標値を維持し、更には向上するよう施策展開することが重要となる。
- ・この施策では、財政面での支援を2つの事務事業で展開しており、それぞれの事業対象者(私立高校、奨学金の貸与者)には、施策の意図に沿った取組ができています。

【事務事業群テーマ別の評価】

<教育環境の充実>

- ・「飯田女子高等学校運営支援事業」は、飯田市と下伊那の町村がルールに基づき負担金を支出しており円滑な学校運営に貢献できている。

<教育内容の充実>

- ・市が展開する高校生を対象にキャリア教育や体験活動等を展開する地域人教育は、別施策(施策29 ふるさと意識の醸成)に位置づけて展開している。

<教育機会の提供>

- ・「奨学金貸与事業」は、奨学金貸与希望者の募集、審査をして、貸与(大学生等月3万円、高校生月1万円)、償還を行っている。また、奨学金貸与者が、卒業後に飯田市へ居住する場合には、償還の一部免除制度(年間償還学の1/3以内 上限6万円/年)を平成20年4月から実施している。
- ・奨学金貸与事業の展開は、飯田市から直接貸与と民間育英会3者が共同して実施している。
- ・平成24年度の奨学金新規貸与者数は、大学生等45人、高校生5人。
- ・償還の一部免除者は、飯田市分14人(継続10人、新規4人)、民間育英会分33人(継続25人、新規8人)合計47人。
この数は年々増加傾向にある(H20:13 H21:20H22:31 H23:40)。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・この施策で事務事業展開するのは経済的支援であるが、リーマンショック(H20)以後の社会情勢等からも不可欠な方策であり、引き続き教育環境の充実と教育機会提供のために取り組んでいく。